



2024年12月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2025年2月13日

上場会社名 株式会社レゾナック・ホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 4004 URL <https://www.resonac.com/jp>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 高橋 秀仁
 問合せ先責任者 (役職名) IR部長 (氏名) 藤崎 一彦 TEL 03-6263-8003
 定時株主総会開催予定日 2025年3月26日 配当支払開始予定日 2025年3月27日
 有価証券報告書提出予定日 2025年3月26日
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有（証券アナリスト、機関投資家向け）

(百万円未満四捨五入)

1. 2024年12月期の連結業績（2024年1月1日～2024年12月31日）

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年12月期	1,389,277	7.8	78,750	—	69,692	—	55,422	—
2023年12月期	1,288,869	△7.5	△3,764	—	△14,773	—	△18,955	—

(注) 包括利益 2024年12月期 94,900百万円 (484.8%) 2023年12月期 16,227百万円 (△76.4%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2024年12月期	306.59	—	9.4	3.4	5.7
2023年12月期	△104.65	—	△3.4	△0.7	△0.3

(参考) 持分法投資損益 2024年12月期 4,548百万円 2023年12月期 3,589百万円

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年12月期	2,124,966	658,395	29.7	3,494.12
2023年12月期	2,031,953	578,668	27.2	3,052.07

(参考) 自己資本 2024年12月期 631,475百万円 2023年12月期 552,838百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2024年12月期	165,254	△51,601	△19,978	295,432
2023年12月期	118,686	△61,869	△62,880	189,915

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2023年12月期	—	0.00	—	65.00	65.00	11,788	—	2.1
2024年12月期	—	0.00	—	65.00	65.00	11,787	21.2	2.0
2025年12月期 (予想)	—	0.00	—	65.00	65.00		45.2	

3. 2025年12月期の連結業績予想（2025年1月1日～2025年12月31日）

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上収益		コア営業利益		営業利益		当期利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期 (累計)	676,000	—	28,000	—	16,000	—	5,500	—	5,400	—	29.88
通期	1,422,000	—	98,000	—	49,000	—	27,000	—	26,000	—	143.87

(参考) 税引前利益 第2四半期 (累計) 10,000百万円 (—%) 通期 38,000百万円 (—%)

(注) 1 当社グループは、2024年12月期の有価証券報告書における連結財務諸表から国際財務報告基準 (IFRS) を任意適用いたします。このため、2025年12月期の連結業績予想はIFRSに基づき作成しており、日本基準を適用していた2024年12月期の実績値に対する増減率は記載しておりません。

2 コア営業利益は、営業利益から非経常的な要因により発生した損益を除いて算出しております。

※ 注記事項

(1) 期中における連結範囲の重要な変更：有

新規 1社 (社名) クラサスケミカル株式会社、除外 2社 (社名) 韓国昭和化学品株式会社、株式会社レゾナック電子材料九州
詳細は【添付資料】17ページ「4. 連結財務諸表及び主な注記 (5) 連結財務諸表に関する注記事項 (連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

- ① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数

2024年12月期	184,901,292株	2023年12月期	184,901,292株
2024年12月期	4,176,378株	2023年12月期	3,765,979株
2024年12月期	180,768,586株	2023年12月期	181,129,792株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績予想等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】2～4ページ「1. 経営成績等の概況 (1) 経営成績に関する分析」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 経営成績に関する分析	2
(2) 財政状態に関する分析	5
2. 経営方針	7
(1) 中長期的な会社の経営戦略	7
(2) 目標とする経営指標	8
3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	8
4. 連結財務諸表及び主な注記	9
(1) 連結貸借対照表	9
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書	11
連結損益計算書	11
連結包括利益計算書	12
(3) 連結株主資本等変動計算書	13
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書	15
(5) 連結財務諸表に関する注記事項	17
(継続企業の前提に関する注記)	17
(連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項)	17
(連結損益計算書関係)	17
(セグメント情報等)	18
(1株当たり情報)	24
(重要な後発事象)	25

1. 経営成績等の概況

(1) 経営成績に関する分析

1) 当期の経営成績

当連結会計年度（2024年1月～12月）の世界経済は、世界的な金融引き締めに伴う影響が続きました。また、ウクライナや中東情勢によるエネルギーコスト及び原材料コストの高騰などが長期化し、供給面での制約が続いたものの、全体としては緩やかな回復が見られました。なかでも半導体業界については比較的顕著な回復が見られました。国内経済は、個人消費や企業の設備投資に持ち直しの動きが見られ、全体として緩やかに回復しました。

当連結会計年度の連結営業成績における売上高は、モビリティとケミカルの2セグメントは前期並みとなりました。半導体・電子材料とイノベーション材料の2セグメントは販売数量増により増収となり、総じて増収となる1兆3,892億77百万円となりました。営業利益は、モビリティセグメントは減益となりましたが、その他の3セグメントは増益となり、総じて増益の787億50百万円となりました。営業外損益は、前期に比べ持分法による投資利益等が改善し、経常利益は696億92百万円となりました。特別利益では旧本社土地建物の固定資産売却益等があり、当連結会計年度の親会社株主に帰属する当期純利益は554億22百万円となりました。

(単位：百万円)

	2023年 通期	2024年 通期	増減	増減率
売上高	1,288,869	1,389,277	100,408	7.8%
営業利益	△3,764	78,750	82,514	—
経常利益	△14,773	69,692	84,465	—
親会社株主に帰属 する当期純利益	△18,955	55,422	74,377	—

2) セグメント別概況

【半導体・電子材料セグメント】

当セグメントでは、半導体材料は市況の回復に伴う販売数量増により増収となりました。デバイスソリューションは、HDメディアがデータセンター向け需要の回復により大幅な増収、SiCエピタキシャルウェハも販売数量の増加で増収となりました。

この結果、当セグメントは前期比で増収増益となりました。

(単位：百万円)

	2023年 通期	2024年 通期	増減	増減率
売上高	338,126	445,136	107,010	31.6%
営業利益	△9,422	62,927	72,349	—

【モビリティセグメント】

当セグメントでは、自動車部品は、自動車生産の回復や新規車種向け製品の立上げ等があったものの、タイの情勢等を背景として需要の低迷の影響を受け、売上高は減収となりました。リチウムイオン電池材料は、民生向けの需要減速の影響が継続した一方で、電動車向けで数量が増加し、増収となりました。

この結果、当セグメントは、売上高は前期並み、営業利益は減益となりました。

(単位：百万円)

	2023年 通期	2024年 通期	増減	増減率
売上高	216,072	213,671	△2,402	△1.1%
営業利益	5,391	4,890	△501	△9.3%

当期よりセグメント区分を変更し、アルミ機能部材事業を「イノベーション材料」から「モビリティ」セグメントへ移管しております。2023年に遡り新セグメントベースで記載しております。

【イノベーション材料セグメント】

当セグメントでは、原材料価格の高騰を製品販売価格に転嫁したことや販売数量増により、前期比で増収増益となりました。

(単位：百万円)

	2023年 通期	2024年 通期	増減	増減率
売上高	92,971	97,231	4,260	4.6%
営業利益	7,850	10,684	2,834	36.1%

当期よりセグメント区分を変更し、アルミ機能部材事業を「イノベーション材料」から「モビリティ」セグメントへ移管しております。2023年に遡り新セグメントベースで記載しております。

【ケミカルセグメント】

当セグメントでは、石油化学は、ナフサ価格上昇に伴う販売単価上昇により増収となるも、誘導品の定修による販売数量減で減益となりました。化学品は、売上高は前期並み、一部製品の原料高により減益となりました。黒鉛電極は、市況低迷の影響を受け販売数量、販売単価ともに下落し減収となるも、低価格法の戻り益があり赤字縮小となりました。

この結果、当セグメントは前期比で売上横ばい、増益となりました。

(単位：百万円)

	2023年 通期	2024年 通期	増減	増減率
売上高	516,333	517,390	1,058	0.2%
営業利益	7,718	9,543	1,826	23.7%

3) 次期の見通し

①業績全般の見通し

次期の世界経済は、世界的な金融引締めやインフレ進行による足踏みのリスク、アメリカの政策動向の影響等、不透明さはあるものの、緩やかな回復が続くことが期待されます。

このような状況下、当社は半導体需要を背景にコア成長事業である半導体・電子材料への積極的な設備投資を続けるとともに、引き続き事業ポートフォリオ改革、諸施策を進めてまいります。

当社グループの通期業績見通しは下表のとおりであります。

なお、当社グループは、2024年12月期の有価証券報告書における連結財務諸表から国際財務報告基準（IFRS）を任意適用いたします。このため、2025年12月期の連結業績予想はIFRSに基づき作成しており、日本基準を適用していた2024年12月期の実績値に対する増減は記載しておりません。

(単位：百万円)

	2025年12月期予想
売上収益	1,422,000
コア営業利益	98,000
営業利益	49,000
税引前当期利益	38,000
当期利益	27,000
親会社の所有者に帰属する当期利益	26,000

コア営業利益： 営業利益から非経常的な要因により発生した損益を除いて算出。

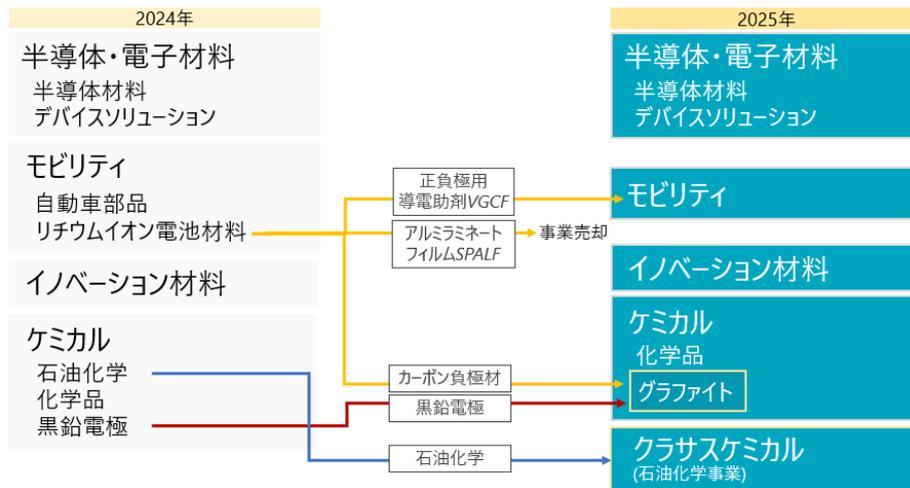
非経常項目は、その他の収益、その他の費用および減損損失（売上原価・販売費および一般管理費に含まれます）

②セグメント別売上収益・コア営業利益の見通し

(単位：百万円)

セグメント	2025年12月期予想	
	売上収益	コア営業利益
半導体・電子材料	499,000	99,000
モビリティ	180,000	6,500
イノベーション材料	100,000	9,000
ケミカル	174,000	△ 5,000
クラサスケミカル	358,000	10,500
その他・調整額	111,000	△ 22,000
合計	1,422,000	98,000

※2025年12月期より下記のとおり開示セグメントを変更しております。



上記の見通しは、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

(2) 財政状態に関する分析

1) 資産、負債、純資産の状況

当期末の総資産は、現金及び預金が増加し、前期末に比べ930億14百万円増加の2兆1,249億66百万円となりました。負債合計は有利子負債が増加し、前期末に比べ132億86百万円増加の1兆4,665億71百万円となりました。純資産は、為替換算調整勘定の増加等もあり、前期末に比べ797億28百万円増加の6,583億95百万円となりました。

(単位：百万円)

	前連結会計年度末	当連結会計年度末	増減
総資産	2,031,953	2,124,966	93,014
負債合計	1,453,285	1,466,571	13,286
純資産	578,668	658,395	79,728

2) キャッシュ・フローの状況

営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前当期利益の増加等により、前期に比べ465億68百万円の収入増加となる1,652億54百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入の減少があったものの、固定資産の売却による収入の増加等により、前期に比べ102億68百万円の支出減少となる516億1百万円の支出となりました。

この結果、フリー・キャッシュ・フローは、前期に比べ568億36百万円の収入増加となる1,136億53百万円の収入となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、長期借入金の返済や社債の償還等による支出があったものの、長期借入れによる収入や社債の発行による収入等により、前期に比べ429億2百万円の支出減少となる199億78百万円の支出となりました。

この結果、当期末の現金及び現金同等物は、為替変動の影響等も含め、前期末に比べ1,055億17百万円増加となる2,954億32百万円となりました。

（単位：百万円）

	前連結会計年度	当連結会計年度	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	118,686	165,254	46,568
投資活動によるキャッシュ・フロー	△61,869	△51,601	10,268
フリー・キャッシュ・フロー	56,817	113,653	56,836
財務活動によるキャッシュ・フロー	△62,880	△19,978	42,902
現金及び現金同等物の期末残高	189,915	295,432	105,517

3) キャッシュ・フロー指標のトレンド

	2021年 12月期実績	2022年 12月期実績	2023年 12月期実績	2024年 12月期実績
自己資本比率	24.0%	26.3%	27.2%	29.7%
時価ベースの自己資本比率	20.4%	17.5%	25.0%	34.1%
債務償還年数	7.4年	10.7年	8.6年	6.2年
インタレスト・カバレッジ・レシオ	11.5倍	6.4倍	9.7倍	13.6倍

自己資本比率： 自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率： 株式時価総額／総資産

債務償還年数：有利子負債／営業活動によるキャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ： 営業活動によるキャッシュ・フロー／利払い

※ いずれの指標も連結ベースの財務数値により計算している。

※ 自己資本は、純資産－非支配株主持分により算出している。

※ 株式時価総額は期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）としている。

※ キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用している。

※ 有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち借入金、コマーシャルペーパー、社債及びリース債務を対象としている。

※ 利払いは連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額としている。

2. 経営方針

（1）中長期的な会社の経営戦略

2023年1月、旧昭和電工㈱と旧日立化成㈱（旧昭和電工マテリアルズ㈱）は統合し、レゾナックグループとして新たなスタートを切りました。

<経営理念>

当社は以下を経営理念に定めております。

存在意義（パーパス）

「化学の力で社会を変える」

私たちが大切にしている価値観（バリュー）

「プロフェッショナルとしての成果へのこだわり」

「機敏さと柔軟性」

「枠を超える、オープンマインド」

「未来への先見性と高い倫理観」

先端材料パートナーとして時代が求める機能を創出し、グローバル社会の持続可能な発展に貢献します。

また、レゾナックグループは、パーパスに基づき「化学の力で社会を変える」ためには、経営の根幹にサステナビリティの概念を据える必要があると考え、執行体制の強化を進めております。その一環として、「サステナビリティビジョン2030」を設定すると共に、長期ビジョンの主要戦略を実行するためのサステナビリティ重要課題を特定し、経営理念とともに、グループ、グローバルでの浸透を図っております。

当社はグループ一丸となって事業に取り組むとともに、人材育成の強化、人事評価の透明性や実力主義の徹底等を進めてまいります。

<レゾナックがめざす姿>



* 共創型化学会社

私たちの基盤は、川中から川下まで幅広く自在な最先端の機能材料テクノロジーです。その上で、社会課題とその原因を鋭く可視化し、解決に向けてイニシアチブを発揮してまいります。そのためには、化学業界に閉じた個社の事業活動にとどまっては足りないと考えております。

化学企業としてグローバルにおける一流の実力を備え、機敏かつ柔軟な行動と意思決定をもって、産業のキープレイヤーから生活者に至るまで志を共にする仲間とよりよい社会を共創してまいります。これが、私たちがめざす“共創型化学会社”の姿です。

* 世界トップクラスの機能性化学メーカー

私たちは「世界トップクラスの機能性化学メーカー」をめざします。その姿として、質的な面、計数的な面それぞれを兼ね備えた「世界で戦える会社」、イノベーションと事業開発力で「持続可能なグローバル社会に貢献する会社」、さまざまなステークホルダーからも注目されるような「国内の製造業を代表する共創型人材創出企業」となることを掲げ、実現してまいります。

(2) 目標とする経営指標

	2024年実績	目標
売上高	1.39兆円	1兆円超
EBITDAマージン	13.7%	20%
ROIC	4.4%	中長期的に10%
ネットD/Eレシオ	0.76倍	1.0倍

目標数値の達成により、TSR(株主総利回り)は中長期的に化学業界で上位25%の水準をめざします。

3. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、資本市場における財務情報の国際的な比較可能性の向上、海外投資家への訴求力強化、会計処理統一によるグループ経営管理の強化を主目的として、2024年12月期の有価証券報告書における連結財務諸表より、従来における日本基準に替えて、国際財務報告基準(IFRS)を任意適用することといたしました。なお、この2024年12月期決算短信は日本基準で作成しております。

4. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当連結会計年度 (2024年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	190,318	295,757
受取手形及び売掛金	266,122	280,995
商品及び製品	115,123	110,559
仕掛品	23,687	23,329
原材料及び貯蔵品	86,383	90,916
その他	72,019	74,034
貸倒引当金	△1,731	△2,148
流動資産合計	751,922	873,441
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	154,659	150,562
機械装置及び運搬具（純額）	218,346	217,963
工具、器具及び備品（純額）	25,021	25,557
土地	230,806	213,523
リース資産（純額）	12,403	15,211
建設仮勘定	37,351	60,335
有形固定資産合計	678,586	683,151
無形固定資産		
のれん	285,199	267,860
顧客関連資産	128,908	121,145
その他	56,482	38,831
無形固定資産合計	470,589	427,836
投資その他の資産		
投資有価証券	72,503	71,628
退職給付に係る資産	28,038	38,554
繰延税金資産	14,965	15,695
その他	16,513	16,127
貸倒引当金	△1,163	△1,465
投資その他の資産合計	130,856	140,539
固定資産合計	1,280,031	1,251,525
資産合計	2,031,953	2,124,966

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2023年12月31日)	当連結会計年度 (2024年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	177,375	177,082
短期借入金	52,489	55,291
1年内返済予定の長期借入金	23,552	23,645
コマーシャル・ペーパー	10,000	—
1年内償還予定の社債	40,000	60,000
修繕引当金	794	53
賞与引当金	10,593	13,678
役員賞与引当金	109	148
株式給付引当金	81	7
事業構造改善引当金	621	3,281
その他	146,267	153,237
流動負債合計	461,881	486,422
固定負債		
社債	250,000	315,000
長期借入金	625,840	549,895
繰延税金負債	36,321	37,050
再評価に係る繰延税金負債	28,448	25,594
修繕引当金	2,430	3,982
株式給付引当金	353	697
事業構造改善引当金	577	276
退職給付に係る負債	9,961	10,087
その他	37,474	37,569
固定負債合計	991,404	980,149
負債合計	1,453,285	1,466,571
純資産の部		
株主資本		
資本金	182,146	182,146
資本剰余金	108,140	108,378
利益剰余金	137,269	152,332
自己株式	△11,593	△13,172
株主資本合計	415,963	429,684
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	194	108
繰延ヘッジ損益	1,196	△224
土地再評価差額金	26,113	54,686
為替換算調整勘定	99,217	132,088
退職給付に係る調整累計額	10,154	15,132
その他の包括利益累計額合計	136,875	201,791
非支配株主持分	25,830	26,921
純資産合計	578,668	658,395
負債純資産合計	2,031,953	2,124,966

（2）連結損益計算書及び連結包括利益計算書
（連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （自 2023年1月1日 至 2023年12月31日）	当連結会計年度 （自 2024年1月1日 至 2024年12月31日）
売上高	1,288,869	1,389,277
売上原価	1,042,252	1,055,295
売上総利益	246,617	333,982
販売費及び一般管理費	250,380	255,232
営業利益又は営業損失（△）	△3,764	78,750
営業外収益		
受取利息	1,840	2,223
受取配当金	400	517
持分法による投資利益	3,589	4,548
為替差益	1,967	1,696
雑収入	6,457	5,879
営業外収益合計	14,253	14,864
営業外費用		
支払利息	13,370	13,555
資金調達費用	438	2,550
雑支出	11,455	7,817
営業外費用合計	25,263	23,922
経常利益又は経常損失（△）	△14,773	69,692
特別利益		
固定資産売却益	3,720	28,444
その他	30,615	3,576
特別利益合計	34,335	32,020
特別損失		
固定資産除売却損	5,889	4,400
減損損失	26,183	24,480
事業構造改善引当金繰入額	20	3,516
その他	13,654	2,672
特別損失合計	45,746	35,068
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失（△）	△26,184	66,644
法人税、住民税及び事業税	9,483	15,114
法人税等調整額	△17,642	△5,238
法人税等合計	△8,159	9,876
当期純利益又は当期純損失（△）	△18,026	56,768
非支配株主に帰属する当期純利益	929	1,347
親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失（△）	△18,955	55,422

（連結包括利益計算書）

（単位：百万円）

	前連結会計年度 （自 2023年1月1日 至 2023年12月31日）	当連結会計年度 （自 2024年1月1日 至 2024年12月31日）
当期純利益又は当期純損失（△）	△18,026	56,768
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△255	△5
繰延ヘッジ損益	△265	△1,419
為替換算調整勘定	27,695	33,356
退職給付に係る調整額	6,190	4,978
持分法適用会社に対する持分相当額	887	1,223
その他の包括利益合計	34,252	38,132
包括利益	16,227	94,900
（内訳）		
親会社株主に係る包括利益	14,003	91,765
非支配株主に係る包括利益	2,223	3,135

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)

(単位: 百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	182,146	108,140	165,902	△11,612	444,576
当期変動額					
剰余金の配当			△11,788		△11,788
親会社株主に帰属する当期純損失			△18,955		△18,955
自己株式の取得				△4	△4
自己株式の処分		△0		23	23
連結子会社の減少に伴う増加			309		309
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動					—
土地再評価差額金の取崩			1,801		1,801
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計		△0	△28,632	19	△28,613
当期末残高	182,146	108,140	137,269	△11,593	415,963

	その他の包括利益累計額						非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	355	1,461	27,915	72,008	3,980	105,719	24,423	574,718
当期変動額								
剰余金の配当								△11,788
親会社株主に帰属する当期純損失								△18,955
自己株式の取得								△4
自己株式の処分								23
連結子会社の減少に伴う増加								309
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動								—
土地再評価差額金の取崩								1,801
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	△160	△265	△1,802	27,209	6,174	31,156	1,406	32,563
当期変動額合計	△160	△265	△1,802	27,209	6,174	31,156	1,406	3,949
当期末残高	194	1,196	26,113	99,217	10,154	136,875	25,830	578,668

当連結会計年度(自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

(単位:百万円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	182,146	108,140	137,269	△11,593	415,963
当期変動額					
剰余金の配当			△11,787		△11,787
親会社株主に帰属する当期純利益			55,422		55,422
自己株式の取得				△1,883	△1,883
自己株式の処分		0		304	304
連結子会社の減少に伴う増加					—
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動		238			238
土地再評価差額金の取崩			△28,572		△28,572
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計		238	15,063	△1,579	13,722
当期末残高	182,146	108,378	152,332	△13,172	429,684

	その他の包括利益累計額						非支配株主持分	純資産合計
	その他有価証券評価差額金	繰延ヘッジ損益	土地再評価差額金	為替換算調整勘定	退職給付に係る調整累計額	その他の包括利益累計額合計		
当期首残高	194	1,196	26,113	99,217	10,154	136,875	25,830	578,668
当期変動額								
剰余金の配当								△11,787
親会社株主に帰属する当期純利益								55,422
自己株式の取得								△1,883
自己株式の処分								304
連結子会社の減少に伴う増加								—
非支配株主との取引に係る親会社の持分変動								238
土地再評価差額金の取崩								△28,572
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△86	△1,419	28,572	32,871	4,978	64,916	1,091	66,006
当期変動額合計	△86	△1,419	28,572	32,871	4,978	64,916	1,091	79,729
当期末残高	108	△224	54,686	132,088	15,132	201,791	26,921	658,395

（4）連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前当期純利益又は税金等調整前当期純損失（△）	△26,184	66,644
減価償却費	92,516	94,774
減損損失	26,183	24,480
のれん償却額	16,953	17,198
退職給付に係る負債の増減額（△は減少）	△10,292	△10,601
受取利息及び受取配当金	△2,240	△2,740
支払利息	13,370	13,555
持分法による投資損益（△は益）	△3,589	△4,548
投資有価証券売却及び評価損益（△は益）	462	△74
固定資産除却損	5,803	4,297
固定資産売却損益（△は益）	△3,634	△28,341
売上債権の増減額（△は増加）	1,131	△5,812
棚卸資産の増減額（△は増加）	28,081	7,660
仕入債務の増減額（△は減少）	△16,570	△3,361
その他	9,440	2,329
小計	131,429	175,458
利息及び配当金の受取額	7,064	9,184
利息の支払額	△12,233	△12,144
法人税等の支払額又は還付額（△は支払）	△7,574	△7,245
営業活動によるキャッシュ・フロー	118,686	165,254
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,146	△1,107
定期預金の払戻による収入	1,096	1,212
有形固定資産の取得による支出	△87,105	△86,403
有形固定資産の売却による収入	6,169	33,608
投資有価証券の取得による支出	△38	△76
投資有価証券の売却による収入	3,283	459
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	△4,552	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の売却による収入	31,692	—
短期貸付金の純増減額（△は増加）	△12	△559
長期貸付けによる支出	△892	△1,551
長期貸付金の回収による収入	910	1,089
その他	△11,273	1,726
投資活動によるキャッシュ・フロー	△61,869	△51,601

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△20,138	2,573
コマーシャル・ペーパーの純増減額 (△は減少)	10,000	△10,000
長期借入れによる収入	65,300	172,436
長期借入金の返済による支出	△131,665	△250,708
社債の発行による収入	29,843	124,791
社債の償還による支出	—	△40,000
自己株式の取得による支出	△4	△1,883
自己株式の売却による収入	0	23
配当金の支払額	△11,794	△11,760
非支配株主への配当金の支払額	△1,263	△1,220
連結の範囲の変更を伴わない子会社株式の取得による支出	—	△538
その他	△3,160	△3,692
財務活動によるキャッシュ・フロー	△62,880	△19,978
現金及び現金同等物に係る換算差額	9,922	11,842
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,859	105,517
現金及び現金同等物の期首残高	186,056	189,915
現金及び現金同等物の期末残高	189,915	295,432

（5）連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項）

連結の範囲に関する事項

連結子会社の数 101社

韓国昭和化学品㈱は清算終了したため、連結の範囲から除外しております。㈱レゾナック電子材料九州は㈱レゾナックを存続会社とする吸収合併により消滅したため、連結の範囲から除外しております。クラサケミカル㈱は新たに設立したため、連結の範囲に含めております。

なお、非連結子会社（ハイパック㈱等22社）の総資産額、売上高、当期純損益（持分相当額）及び利益剰余金（持分相当額）等の各合計額は、いずれも連結財務諸表に重要な影響を及ぼさないため連結の範囲から除外しております。

（連結損益計算書関係）

減損損失

減損損失を認識した主要な資産の内訳は、以下のとおりであります。

場所	用途	種類	金額(百万円)
マレーシア	黒鉛電極製造設備他	建物及び構築物	3,697
		機械装置及び運搬具	6,578
		工具、器具及び備品	441
		土地	1,300
		建設仮勘定	281
		計	12,298
長野県大町市	黒鉛電極製造用地他	土地	9,506
		計	9,506
千葉県市原市	ハードディスク製造設備他	建設仮勘定	1,265
		無形固定資産（その他）	74
		計	1,339

当社グループは、原則として事業部を基準としてグルーピングを行っております。なお、一部の連結子会社については、規模等を鑑み、会社単位を基準としてグルーピングを行っております。また、遊休資産については、個別資産ごとにグルーピングを行っております。

当連結会計年度は、当社及び一部の連結子会社において、経営環境の著しい悪化、遊休化等により回収可能価額が帳簿価額を下回る資産について減損処理を行い、減損損失24,480百万円を特別損失に計上しております。その内訳は、建物及び構築物3,876百万円、機械装置及び運搬具7,625百万円、工具、器具及び備品443百万円、土地10,806百万円、リース資産62百万円、建設仮勘定1,546百万円、無形固定資産（その他）74百万円、投資その他の資産（その他）47百万円であります。

なお、回収可能性の算定にあたっては、遊休資産については正味売却価額を使用し、その他の資産については主として正味売却価額を使用しております。正味売却価額については処分価格等で算出しております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1 報告セグメントの概要

当社のセグメントは、当社の構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当連結会計年度より、アルミ機能部材事業について、セグメントを「イノベーション材料」から「モビリティ」に変更しております。

なお、前連結会計年度のセグメント情報については、変更後のセグメント区分で記載しております。

各報告セグメントに属する主要な製品・商品の種類は、下表のとおりであります。

	主要製品・商品等
半導体・電子材料	半導体前工程材料（情報電子化学品（電子材料用高純度ガス・機能薬品）、半導体回路平坦化用研磨材料）、半導体後工程材料（エポキシ封止材、ダイボンディング材料、銅張積層板、感光性フィルム、感光性ソルダーレジスト）、デバイスソリューション（ハードディスク、SiCエピタキシャルウェハー、化合物半導体（LED））
モビリティ	自動車部品（樹脂成形品、摩擦材、粉末冶金製品、アルミ機能部材）、リチウムイオン電池材料（アルミラミネートフィルム、正負極用導電助剤、カーボン負極材）
イノベーション材料	機能性化学品（合成樹脂エマルジョン、不飽和ポリエステル樹脂）、機能性樹脂、コーティング材料、セラミックス（アルミナ、研削研磨材、ファインセラミックス）
ケミカル	石油化学（オレフィン、有機化学品（酢酸ビニルモノマー・酢酸エチル・アリアルアルコール））、化学品（産業ガス（液化炭酸ガス・ドライアイス・酸素・窒素・水素）、基礎化学品（液化アンモニア・アクリロニトリル・アミノ酸・苛性ソーダ・塩素・合成ゴム））、黒鉛電極

2 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、連結財務諸表を作成するために採用される会計方針に準拠した方法であります。

報告セグメントの利益又は損失は、営業損益ベースの数値であります。

セグメント間の内部売上高又は振替高は、主に市場実勢価格に基づいております。

3 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、その他の項目の金額に関する情報
前連結会計年度(自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	調整額 (注2)	連結
	半導体・ 電子材料	モビリティ	イノベーション材 料	ケミカル	計			
売上高								
外部顧客への売上高	338,126	216,072	92,971	516,333	1,163,502	125,367	—	1,288,869
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,406	5,199	11,612	12,797	33,013	4,133	△37,147	—
計	341,532	221,271	104,583	529,130	1,196,516	129,500	△37,147	1,288,869
セグメント損益 (営業損益)	△9,422	5,391	7,850	7,718	11,538	△2,276	△13,025	△3,764
セグメント資産	843,669	243,783	159,169	472,005	1,718,625	274,907	38,421	2,031,953
その他の項目								
減価償却費	40,034	18,108	5,866	17,266	81,275	9,380	1,862	92,516
のれんの償却額 (注3)	13,261	2,135	856	79	16,331	622	—	16,953
持分法適用会社への 投資額	50,260	—	3,275	13,273	66,808	—	—	66,808
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	38,815	13,382	4,372	23,166	79,735	15,093	1,805	96,633

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ライフサイエンス関連製品等の事業を含んでおります。

2 調整額は以下のとおりであります。

(1) セグメント損益の調整額△13,025百万円には、セグメント間取引消去551百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△13,576百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社共通研究開発費であります。

(2) セグメント資産の調整額38,421百万円には、セグメント間の債権債務及び資産の消去△70,076百万円、報告セグメントに帰属しない全社資産108,497百万円が含まれております。全社資産は余資運用資金（現金・預金）、繰延税金資産及び全社共通研究開発に係る資産であります。

3 のれんの償却額には、負ののれんの償却額が含まれております。

当連結会計年度(自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

(単位：百万円)

	報告セグメント					その他 (注1)	調整額 (注2)	連結
	半導体・ 電子材料	モビリティ	イノベーション材 料	ケミカル	計			
売上高								
外部顧客への売上高	445,136	213,671	97,231	517,390	1,273,428	115,849	—	1,389,277
セグメント間の内部 売上高又は振替高	4,970	1,935	12,547	12,902	32,354	6,582	△38,936	—
計	450,106	215,605	109,778	530,292	1,305,782	122,431	△38,936	1,389,277
セグメント損益 (営業損益)	62,927	4,890	10,684	9,543	88,045	△711	△8,584	78,750
セグメント資産	841,914	243,276	158,838	471,023	1,715,051	274,335	135,581	2,124,966
その他の項目								
減価償却費	41,412	18,744	5,849	18,158	84,163	8,543	2,067	94,774
のれんの償却額 (注3)	13,239	2,135	887	315	16,575	623	—	17,198
持分法適用会社への 投資額	50,579	—	3,291	12,399	66,269	—	—	66,269
有形固定資産及び無 形固定資産の増加額	50,152	10,719	5,080	20,282	86,232	9,200	3,000	98,433

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、ライフサイエンス関連事業等を含んでおります。

2 調整額は以下のとおりであります。

- (1) セグメント損益の調整額△8,584百万円には、セグメント間取引消去337百万円、各報告セグメントに配分していない全社費用△8,922百万円が含まれております。全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない全社共通研究開発費であります。
- (2) セグメント資産の調整額135,581百万円には、セグメント間の債権債務及び資産の消去△70,198百万円、報告セグメントに帰属しない全社資産205,779百万円が含まれております。全社資産は余資運用資金（現金・預金）、繰延税金資産及び全社共通研究開発に係る資産であります。

3 のれんの償却額には、負ののれんの償却額が含まれております。

【関連情報】

前連結会計年度（自 2023年1月1日 至 2023年12月31日）

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：百万円)

日本	中国	アジア (中国除く)	その他	合計
607,079	174,207	266,417	241,166	1,288,869

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

(単位：百万円)

日本	アジア	その他	合計
443,080	138,662	96,845	678,586

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載をしておりません。

当連結会計年度（自 2024年1月1日 至 2024年12月31日）

1 製品及びサービスごとの情報

セグメント情報に同様の情報を開示しているため、記載を省略しております。

2 地域ごとの情報

(1) 売上高

(単位：百万円)

日本	中国	アジア (中国除く)	その他	合計
613,571	209,310	331,760	234,636	1,389,277

(注) 売上高は顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

(2) 有形固定資産

(単位：百万円)

日本	アジア	その他	合計
451,792	123,533	107,826	683,151

3 主要な顧客ごとの情報

外部顧客への売上高のうち、連結損益計算書の売上高の10%以上を占める相手先がないため、記載をしておりません。

【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】
前連結会計年度（自 2023年1月1日 至 2023年12月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他	全社・消去	合計
	半導体・電子材料	モビリティ	イノベーション材料	ケミカル			
減損損失	14,280	36	362	968	10,538	—	26,183

当連結会計年度（自 2024年1月1日 至 2024年12月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他	全社・消去	合計
	半導体・電子材料	モビリティ	イノベーション材料	ケミカル			
減損損失	1,494	1,165	—	21,820	—	—	24,480

【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】
前連結会計年度（自 2023年1月1日 至 2023年12月31日）

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他	全社・消去	合計
	半導体・電子材料	モビリティ	イノベーション材料	ケミカル			
当期償却額	13,294	2,135	1,040	79	624	—	17,171
当期末残高	218,636	35,220	15,547	6,189	10,289	—	285,881

なお、2010年4月1日前行われた企業結合等により発生した負ののれんの償却額及び未償却残高は、以下のとおりであります。

（単位：百万円）

	報告セグメント				その他	全社・消去	合計
	半導体・電子材料	モビリティ	イノベーション材料	ケミカル			
当期償却額	33	—	184	—	2	—	218
当期末残高	130	—	551	—	1	—	682

当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他	全社・消去	合計
	半導体・ 電子材料	モビリティ	イノベーション 材料	ケミカル			
当期償却額	13,271	2,135	1,071	315	624	—	17,415
当期末残高	205,365	33,085	14,618	5,592	9,665	—	268,325

なお、2010年4月1日前に行われた企業結合等により発生した負ののれんの償却額及び未償却残高は、以下のとおりであります。

(単位: 百万円)

	報告セグメント				その他	全社・消去	合計
	半導体・ 電子材料	モビリティ	イノベーション 材料	ケミカル			
当期償却額	33	—	184	—	1	—	217
当期末残高	98	—	367	—	—	—	465

【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)

該当事項はありません。

当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)

該当事項はありません。

(1 株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
1株当たり純資産額	3,052円07銭	3,494円12銭
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失 (△)	△104円65銭	306円59銭

- (注) 1 前連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。
- 2 当連結会計年度の潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、希薄化効果を有している潜在株式が存在しないため記載しておりません。
- 3 普通株式の期中平均株式数の計算において控除する自己株式に、株式給付信託 (BBT) が保有する当社株式 (前連結会計年度216千株、当連結会計年度540千株) 及び株式給付信託 (J-E SOP) が所有する当社株式 (前連結会計年度一千株、当連結会計年度35千株) を含めております。
- 4 1株当たり当期純利益又は1株当たり当期純損失の算定上の基礎

	前連結会計年度 (自 2023年1月1日 至 2023年12月31日)	当連結会計年度 (自 2024年1月1日 至 2024年12月31日)
1株当たり当期純利益又は 1株当たり当期純損失		
親会社株主に帰属する当期純利益又は 親会社株主に帰属する当期純損失 (△) (百万円)	△18,955	55,422
普通株主に帰属しない金額 (百万円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益又は親会社株主に帰属する当期純損失 (△) (百万円)	△18,955	55,422
普通株式の期中平均株式数 (千株)	181,130	180,769
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	2024年4月23日取締役会決議による2028年満期ユーロ円建転換社債型新株予約権付社債 普通株式 21,561,017株

（重要な後発事象）

（石油化学事業のパーシャル・スピンオフに向けたグループ組織再編）

当社は、2024年10月22日開催の取締役会において、当社、㈱レゾナック（以下、「レゾナック」といいます。）及びクラサスケミカル㈱（以下、「クラサスケミカル」といいます。）を当事者とするグループ組織再編（以下、「本組織再編」といいます。）を実施することを決議し、2025年1月1日を効力発生日として実施しました。

（1）本組織再編の概要

2025年1月1日付けで、レゾナックの完全子会社であるクラサスケミカルに当社及びレゾナックから石油化学事業の吸収分割（以下、「本吸収分割」といいます。）を行うとともに、同日付けで、レゾナックが有するクラサスケミカル株式を当社へ現物配当（以下、「本現物配当」といいます。）しました。

（2）本組織再編の日程

取締役会決議日	2024年10月22日
本吸収分割契約締結日	2024年10月22日
株主総会決議日（本吸収分割の承認）（クラサスケミカル）	2024年10月22日
株主総会決議日（本現物配当の承認）（レゾナック）	2024年10月22日
本吸収分割の効力発生日	2025年1月1日
本現物配当の効力発生日	2025年1月1日

（注） 1 当社及びレゾナックにとって、会社法第784条第2項に定める簡易吸収分割に該当するため、当社及びレゾナックの株主総会による吸収分割契約の承認を得ずに行いました。

2 レゾナックによる当社への本現物配当は、会社法第309条第2項に定める金銭分配請求権を与えない現物配当となるため、株主総会の特別決議が必要となります。

（3）本吸収分割の要旨

①本吸収分割の方式

当社及びレゾナックを分割会社とし、クラサスケミカルを承継会社とする吸収分割です。

②本吸収分割に係る割当の内容

クラサスケミカルは、本吸収分割に際して当社に対して普通株式1,000株を発行し、レゾナックに対しても普通株式1,000株を発行しました。

③本吸収分割に係る新株予約権及び新株予約権付社債に関する取扱い

当社が発行した新株予約権・新株予約権付社債について本吸収分割による変更はありません。レゾナックは新株予約権・新株予約権付社債を発行していません。

④本吸収分割により増減する資本金

該当事項はありません。

⑤承継会社が承継した権利義務

クラサスケミカルは、当社及びレゾナックの石油化学事業が有する資産、債務及び契約その他権利義務を吸収分割契約書に定める範囲において承継しました。

⑥債務履行の見込み

本吸収分割の効力発生日以降において、クラサスケミカルが負担すべき債務について、履行の見込みに問題はないものと判断しております。

（4）分割した部門の事業内容

石油化学製品、有機化学製品、合成樹脂製品の製造・販売を中心とする石油化学事業

(5) 報告セグメントの変更

本組織再編を行ったことに伴い、当連結会計年度は、「半導体・電子材料」、「モビリティ」、「イノベーション材料」及び「ケミカル」の4つの報告セグメントとしておりましたが、翌連結会計年度から、「半導体・電子材料」、「モビリティ」、「イノベーション材料」、「ケミカル」及び「クラスケミカル」の5つの報告セグメントに変更することいたしました。なお、変更後のセグメントによった場合の当連結会計年度の報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、その他の項目の金額に関する情報は現在算定中であります。

2024年12月期 連結決算要約

1.業績

① 業績概要

(単位:億円)

項目	2023年 通期 (1月~12月)	2024年 通期 (1月~12月)	増減
売上高	12,889	13,893	1,004
営業利益	△38	787	825
経常利益	△148	697	845
親会社株主に帰属する当期純利益	△190	554	744
1株当たり当期純利益	△104.65円	306.59円	411.24円
1株当たり純資産	3,052.07円	3,494.12円	442.05円
1株当たり配当金	65.00円	65.00円(予定)	-

② セグメント別 売上高・営業利益

(単位:億円)

セグメント	2023年 通期 (1月~12月)	2024年 通期 (1月~12月)	増減	
半導体・電子材料	売上高	3,381	4,451	1,070
	営業利益	△94	629	723
モビリティ	売上高	2,161	2,137	△24
	営業利益	54	49	△5
イノベーション材料	売上高	930	972	43
	営業利益	79	107	28
ケミカル	売上高	5,163	5,174	11
	営業利益	77	95	18
その他・調整額	売上高	1,254	1,158	△95
	営業利益	△153	△93	60
計	売上高	12,889	13,893	1,004
	営業利益	△38	787	825

アルミ機能部材事業は2024年12月期より、イノベーション材料からモビリティにセグメント移行しております。
2023年に遡り新セグメントベースで記載しております。

③ セグメント別 売上高・営業利益 四半期推移

(単位:億円)

セグメント	2024年 第1四半期 (1月~3月)	2024年 第2四半期 (4月~6月)	2024年 第3四半期 (7月~9月)	2024年 第4四半期 (10月~12月)	
半導体・電子材料	売上高	975	1,121	1,189	1,166
	営業利益	63	153	237	176
モビリティ	売上高	526	555	527	530
	営業利益	17	7	11	14
イノベーション材料	売上高	223	247	248	254
	営業利益	24	31	29	22
ケミカル	売上高	1,168	1,286	1,356	1,363
	営業利益	7	14	44	31
その他・調整額	売上高	322	262	270	303
	営業利益	△22	△14	△12	△45
計	売上高	3,214	3,472	3,590	3,617
	営業利益	89	190	309	199

2. 2025年12月期の予想

① 業績予想概要

(単位:億円)

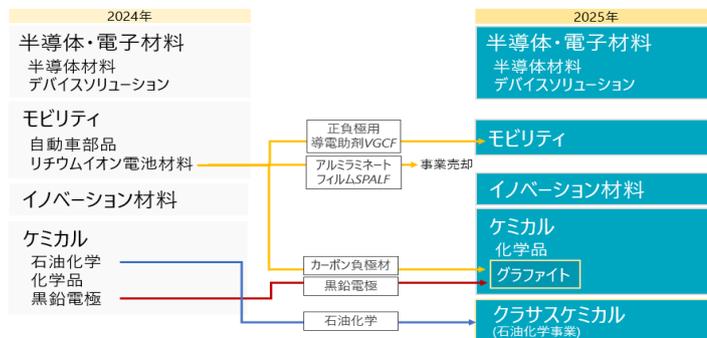
項目	2025年 通期予想
売上収益	14,220
コア営業利益	980
営業利益	490
税引前当期利益	380
当期利益	270
親会社の所有者に 帰属する当期利益	260
基本的1株あたり当期利益	141.10円
1株当たり配当金	65.00円

当社グループは、2024年12月期の有価証券報告書における連結財務諸表から国際財務報告基準（IFRS）を任意適用いたします。このため、2025年12月期の連結業績予想はIFRSに基づき作成しており、日本基準を適用していた2024年12月期の実績値に対する増減は記載しておりません。

② セグメント別 売上収益・コア営業利益

セグメント(新)	2025年 通期予想	
半導体・電子材料	売上収益	4,990
	コア営業利益	990
モビリティ	売上収益	1,800
	コア営業利益	65
イノベーション材料	売上収益	1,000
	コア営業利益	90
ケミカル	売上収益	1,740
	コア営業利益	△50
クラサスケミカル	売上収益	3,580
	コア営業利益	105
その他・調整額	売上収益	1,110
	コア営業利益	△220
計	売上収益	14,220
	コア営業利益	980

2025年12月期よりセグメント区分を以下のとおり変更します。



3. 連結キャッシュ・フロー

(単位:億円)

項目	2023年 通期	2024年 通期	増減	2025年 通期予想
営業キャッシュ・フロー	1,187	1,653	466	1,300
投資キャッシュ・フロー	△619	△516	103	△1,300
フリー・キャッシュ・フロー	568	1,137	568	0
財務キャッシュ・フロー	△629	△200	429	△100
その他	99	118	19	—
現預金増減	39	1,055	1,017	—

4. 参考数値

(単位:億円)

項目	2023年 通期	2024年 通期	増減	2025年 通期予想
設備投資額	966	984	18	1,314
減価償却費	925	948	23	958
研究開発費	427	448	21	478
金融収支	△111	△108	3	△151
為替レート(円 / US\$)	140.6	151.6	11円安	150.0
国産ナフサ価格(円/KL)	67,600	75,400	7,800	78,000
有利子負債残高	10,165	10,211	46	10,330
総資産	20,320	21,250	930	—

本資料に掲載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としています。なお、法令に定めのある場合を除き、当社はこれらの将来予測に基づく記述を更新する義務を負いません。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。業績に影響を与える要素には、世界情勢、ナフサ等原材料価格、黒鉛電極等製品の需要動向及び市況、為替レートなどが含まれますが、これらに限定されるものではありません。